

アドベンチャーキャンプin荒神山 無事終了しました！

例年実施している1泊2日の湖東定住圏事業「アドベンチャーキャンプ in 荒神山」を9月9日(土)～10日(日)にかけて彦根市荒神山自然の家のキャンプ場を中心に行いました。昨年度は、感染症関連の兼ね合いで宿泊を見合わせ日帰りキャンプとしましたが、ようやく本来の姿に戻し多くの小学生が参加して活気がある活動になり、15名の参加者で実施しました。近年参加者は似たような数字で、今年もこじんまりとした開催となりました。人数が少ないぶんこまわりがきき、また違った雰囲気でも充実した活動を行うことができました。

しかしながら、天候には悩まされました。台風からの低気圧の接近で直接影響はなかったものの曇りや雨の日もあり。テントサイトが心配されましたが、ほとんど影響もなく活動に入ることができました。参加した子ども達は元気一杯自然の家に駆けつけてくれました。午前10時に、少し緊張しながらも集会室に集合。「はじまりのつどい」で所員や支援スタッフの紹介と簡単な自己紹介日程の説明後、出会いのレクリエーションを集会室で小一時間雰囲気あいあいとした中で行いました。はじめは堅かった雰囲気も、次第にほぐれ、みんなで一つの課題に向けて取り組んでいく様子はさながら一つの仲間といった様子でした。

鬼ごっこや班の対抗ゲーム、動きのあるゲームや考えて行うゲームなどさまざまなレクリエーション活動をとおしてお互いの気心が知れあうようにもなっていました。

仲間づくり活動の後は、活動を通じて感じたこと、気づいたことなどを班で話し合い係分担を決定した後、健康観察を行ってよいよ本格的にキャンプの開始ですが、まずは腹ごしらえということで食堂の「おにぎり弁当」をおいしくいただきました。

キャンプ場へ移動して、テント設営に入りました。説明を聞きながら、全員で協力してテントを組み立てその後、フライシートをかけてペグでテントを固定し、ベッドメイク。できあがったと

きには、とても素敵な空間に早変わり。荷物をテント内に移動して、いよいよキャンプが始まるという雰囲気が出てきました。つづいて、「流木スプーン作り」です。

オリジナルな部分が多いクラフト活動なので、世界に一本しかないスプーンを作ろうという目的のもと、黙々と取り組んでいました。スプーンの柄の部分は、少し技術が必要なのでスタッフや所員の力を借りました。この日に先立つこと1週間前の9月2日の土曜日に参加してくれる予定の支援スタッフ事前研修をして活動の流れを確認しました。そして、当日の本番。練習のかいあってスムーズに活動ができました。

子ども達はそれぞれが出来上がったスプーンを眺めて、いわゆる悦に入っている様子がとても印象的でした。きっと自宅でも大切に使ってくれると、その様子を所員や支援スタッフは眺めていました。

その後は、待ちに待った夕食作りです。野外活動のだいご味である野外炊事。メニューはカレーとデザートにヨーグルトです。また、飯盒で炊いたご飯のおいしいこと。おいしいこと。普段は電気ので炊き上げるものを自分で火をおこし、飯盒で焚き上げる。なにげない活動ですが、できていく過程の中で炊きあがってくるお米のにおいに気持ちも高ぶります。そして、炊きあがりの飯盒のふたを開けて、お米の様子に感動。パクパクとご飯をほおばり、満腹満足。みんなで協力して作ったご飯がこれほどおいしいとは驚きでした。

野外炊事後始末が終わったグループから夕食後の夜の活動であるナイトハイクに行きました。グループに懐中電灯が一つ渡され、自然の家設定のA(おぼけ)コースがチョイスされました。

途中2つのミッションが用意され、第1ミッションは所員のニックネーム(キャンプネーム)、第2ミッションとして北極星探し。この2つのミッションをクリアして約30分ほどのウォーキングをしました。グループのみんなが近くに寄り添っている姿が微笑ましかったです。帰って来た班からお風呂に入り、22時に就寝しました。

翌日は、午前6時に起床。健康観察やラジオ体操を済ませ、食

堂で朝食をおいしくいただきました。前日夕方はやや風が冷たくなって心配しましたが、すこし時間の変更や調整をして体を冷やさないようにしてテントに入り就寝したので、心配していたほど寒くはなかったようで一安心しました。

従来であれば、最後に全体写真撮影ですが、おわりのつどいを素早く終了するというこで、朝のつどい後に写真撮影を済ませました。

2日目の最初の活動は、「チャレンジウォークラリー」です。

班で協力しながらチャレンジメニューをクリアしていく。班でそろって行動する。走らず安全に行動する。という基本姿勢を確認して、コース地図を手掛かりに途中で問題を解いたり、ゲームをしたり、チェックポイントを通過したりと課題をこなしながら進んでいきました。普段歩かない山の中の道。足を取られたりもしながら一步一步踏みしめて歩いていきました。

みんなが無事ゴールして、しばし休憩後にテントを片付けいよいよフィナーレへ。その前にまずは腹ごしらえ。食堂で牛丼とうどんをおいしくいただき満足顔。その後、クラフト棟に戻り、最後に、おわりのつどいをして解散となりました。

こうして予定していたプログラムをすべて終了し、終わりのつどいをして解散しました。子ども達のアンケートには、「協力することや工夫することの大切さが分かった。」「今年一番楽しかった。」「また、参加したい。」などの感想が書かれており、無事盛況に終えることができました。帰途につく参加者の子どもたちの晴れやかな表情に、所員ならびに支援スタッフも一安心。そしてなによりは、天候。天気予報では、前日まで雨予報でした。なんと終了と同時に雨が降り出すという天候にも恵まれ楽しくまた、大きなけがをする子どももなく安全に2日間を終了したことが何よりでした。

今後も自然の家は、魅力的な自然体験活動を展開しながら皆様のおいでをお待ちしております。また、参加いただいた支援スタッフの方々お世話になりありがとうございました。

活動の様子(写真集)

1日目(9/9土曜日)



はじまりのつどいの様子



仲間づくり活動の様子



班の話し合い活動の様子①



班の話し合い活動の様子②



テント設営の様子



野外炊事



ナイトハイク

2日目(9 / 10日曜日)



朝のつどい



全体記念写真



テント撤営の様子



チャレンジウォークラリーの様子